

平成31年第1回定例会 一般会計予算・決算審査特別委員会（第6日目）
経済建設分科会審査記録

- 1 日 時 平成31年3月7日（木） 午後0時59分
- 2 場 所 市役所 第一委員会室
- 3 議 題 議第39号 平成30年度村上市一般会計補正予算（第7号）
議第4号 平成31年度村上市一般会計予算
- 4 出席委員（10名）
- | | | | |
|------|--------|-----|--------|
| 1番 | 川崎健二君 | 2番 | 山田勉君 |
| 3番 | 本間善和君 | 4番 | 竹内喜代嗣君 |
| 5番 | 小林重平君 | 6番 | 大滝久志君 |
| 7番 | 小田信人君 | 8番 | 川村敏晴君 |
| 副委員長 | 鈴木いせ子君 | 委員長 | 大滝国吉君 |
- 5 欠席委員
なし
- 6 委員外議員
なし
- 7 地方自治法第105条による出席者
議長 三田敏秋君
- 8 オブザーバーとして出席した者
なし
- 9 説明のため出席した者
- | | |
|------------|--------------|
| 副市長 | 忠 聡君 |
| 建設課長 | 伊与部 善久君 |
| 同課整備室長 | 須貝 民雄君（課長補佐） |
| 同課整備室副参事 | 鈴木 義貴君 |
| 同課整備室副参事 | 小田 康隆君 |
| 同課管理室室長 | 五十嵐 忠幸君 |
| 同課管理室副参事 | 風間 貴志君 |
| 同課管理室係長 | 矢部 和貴君 |
| 同課日沿道対策室長 | 高橋 和憲君（課長補佐） |
| 同課日沿道対策室係長 | 佐藤 俊君 |
| 都市計画課長 | 山田 知行君 |
| 同課建築住宅室長 | 浅野 宏君（課長補佐） |
| 同課建築住宅室係長 | 三須 香代君 |
| 同課建築住宅室係長 | 齋藤 俊則君 |
| 同課都市政策室長 | 大西 敏君（課長補佐） |
| 同課都市政策室係長 | 鈴木 孝志君 |
| 下水道課長 | 早川 明男君 |
| 同課工事係係長 | 臼井 信一君 |
| 同課管理業務室長 | 志村 悟君 |
| 同課管理業務室係長 | 渡辺 貴志君 |
| 水道局長 | 川村 甚一君 |

同 局 参 事	山 田 広 良 君
同 局 次 長	内 山 治 夫 君 (課長補佐)
同局工事係副参事	菅 原 和 英 君
同局管理業務室副参事	東 敏 之 君
同局管理業務室副参事	宮 村 勉 君
村上支所村上水道事務所長	加 藤 権治郎 君 (課長補佐)
荒川支所産業建設課長	佐 藤 義 信 君
神林支所産業建設課長	長 柄 長 司 君
朝日支所産業建設課長	大 滝 清 考 君
山北支所産業建設課長	加 藤 泰 君
同 課 産 業 観 光 室 長	森 山 治 人 君 (課長補佐)

10 議会事務局職員

局 長	小 林 政 一
係 長	鈴 木 渉

(午後0時59分)

特別委員長 (大滝国吉君) 開会を宣する。

○当特別委員会の審査については、当特別委員会に設置した経済建設分科会の所管事務について審査することとした。

分科会長 (川村敏晴君) 経済建設分科会の開会を宣する。

○本日の審査は、議第39号及び議第4号のうち建設課、都市計画課、下水道課及び水道局所管分について審査した後、議第39号及び議第4号のうち経済建設分科会所管分について賛否態度の取りまとめを行う。

日程第11 議第39号 平成30年度村上市一般会計補正予算 (第7号) のうち当分科会所管分を議題とし、担当課長 (建設課長 伊与部善久君、都市計画課長 山田知行君、下水道課長 早川明男君、水道局長 川村甚一君) から歳入についての説明を受けた後、歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後、歳出についての質疑に入る。

歳入

第14款 国庫支出金

(説 明)

建設 課長 それでは、建設課所管分についてご説明をさせていただく。10P、11Pをごらんください。14款国庫支出金、2項4目第1節の道路橋りょう費補助金だ。説明欄をごらんいただきたいと思う。1、社会資本整備総合交付金で3,807万3,000円を減額計上させていただいた。これは、平成30年度の社会資本整備総合交付金において、国への要望額となっている国費の当初予算計上額に対し、交付決定があった額との差額6,627万3,000円から国の2次補正に対する要望額の2,820万円を差し引いた額を減額計上させていただいたものである。以上である。

都市計画課長 それでは、都市計画所管分の歳入についての補正を説明させていただく。同じく11P

の14款2項4目土木費国庫補助金、第1節道路橋りょう費補助金の説明欄2の社会資本整備総合交付金については、都市計画道路南中央線整備事業の事業費の減額及び補助交付金額の確定による1,346万6,000円の減額をお願いするものである。都市計画所管分の歳入の補正は以上である。

第15款 県支出金

(説明)

建設 課長 次に、15款県支出金、1項3目第1節の農林水産業費県負担金だ。説明欄をごらんください。1、地籍調査事業費負担金で508万5,000円の減額計上をさせていただいた。これは地籍調査事業、いわゆる国土調査事業で負担金の当初予算計上額に対して交付決定のあった額との差額を減額計上させていただいたものである。以上である。

歳入

第14款 国庫支出金

第15款 県支出金

(質疑)

なし

分科会長（川村敏晴君）休憩を宣する。

（午後1時05分）

分科会長（川村敏晴君）再開を宣する。

（午後1時05分）

歳出

第4款 衛生費

(説明)

水道 局長 それでは、水道局所管部分について説明を申し上げます。予算書の22、23Pである。第4款衛生費、1項1目保健衛生総務費、28節の繰出金である。説明欄2の簡易水道事業特別会計繰出金で、事業費の調整によって100万円を減額いたすものである。以上である。

第6款 農林水産業費

(説明)

建設 課長 24P、25Pをごらんください。6款1項5目農地費で、説明欄をごらんください。3、地籍調査経費で、測量設計等委託料590万8,000円の減額計上をさせていただいた。これは、地籍調査事業に伴う国、県の負担金が確定し、それに伴う事業費が確定したことによる精算見込みによるものである。次に、5、地籍調査事業職員人件費で6万2,000円を増額計上させていただいた。これは、地籍調査事業にかかわる職員の人件費で、給与改定等によるものである。

下水道課長 次に、26、27Pをお開き願う。第6款4項1目農業集落排水処理施設費（繰出金）については、集落排水事業特別会計繰出金になる。農業集落排水改築更新経費に不

足が生じるため178万8,000円を追加させていただいた。以上だ。

第8款 土木費

(説明)

建設 課長

第8款1項1目の土木総務費だが、説明欄をごらんください。1、土木総務費職員人件費で79万6,000円を増額計上させていただいた。これは、土木総務にかかわる職員の人件費で、給与改定等によるものである。次に、8款第2項1目の道路橋りょう総務費だが、同じく説明欄をごらんください。1、日本海沿岸東北自動車道整備推進事業経費で21万円の減額計上させていただいた。これは、道の駅朝日の基本設計業務が国との施工範囲や区分等についての協議が最終的に調わなかったために、繰り越しをせざるを得なくなり、それに伴い検討委員会の報償や先進地視察の高速料金等について執行できない分を減額計上させていただいたものである。次に、8款2項2目道路維持費で、同じく説明欄をごらんください。1、道路対策事業経費で7,329万円の減額計上させていただいた。これは、市道海員学校線流末水路工事ほか2件の交付金事業で工事請負費及び補償費の精算見込みによるものである。次に、2、除雪対策経費で4,037万1,000円を増額計上させていただいた。31Pをお開きください。これは、国の2次補正による交付金事業の追加分として、市道小岩内18号線ほか消雪パイプ改修事業の工事費を4,700万円追加し、また機械器具購入費で除雪車購入の請負差額により562万9,000円を減額。補償費では、市道保内線消雪パイプ新設工事で予定していた電柱移転が不要となったことから100万円を減額計上させていただいたものである。次に、8款2項3目の道路新設改良費だが、同じく説明欄をごらんください。1、市道整備事業経費で1,001万3,000円の減額計上させていただいた。これは、測量設計等委託料、工事請負費、補償金ともに事業確定による精算見込みによるものである。次に、2、幹線道路整備事業経費で408万9,000円の減額計上させていただいた。これも、測量設計等委託料における事業費が確定したことによる精算見込みによるものである。次に、3、歩道等整備事業経費で660万円の減額計上させていただいた。これは、交付金事業の市道山屋前谷線歩道整備工事における事業費確定に伴う精算見込みによるものである。次に、4、道路改良事業費職員人件費で28万5,000円を増額計上させていただいた。これは、道路改良事業にかかわる職員の人件費で、給与改定等によるものである。次に、8款4項2目の河川改良費だが、同じく説明欄をごらんください。1、河川整備促進経費で112万7,000円の減額計上させていただいた。これは、測量設計委託料等の事業費確定に伴う精算見込みによるものである。以上である。

都市計画課長

同じく30P、31Pをごらんください。8款6項1目都市計画総務費の説明欄1の都市計画総務費職員人件費22万2,000円を増額については、給料改定による7人分の人件費の調整分である。続いて、同じページの下、8款6項2目街路事業費の説明欄1、都市計画道路整備事業経費については、交付金の減額により土地購入費1,799万9,000円及び補償金100万円を減額するものだ。以上だ。

下水道課長

続いて、第8款7項1目下水道整備費（繰出金）については、下水道事業特別会計のほうで給与改定に伴う職員人件費に不足が生じたので、10万円を追加させていただいた。以上だ。

都市計画課長

続いて、32P、33Pをごらんください。8款8項1目住宅管理費の説明欄1の住宅管理費職員人件費15万5,000円を増額については、給与改定による5人分の人件費の

調整分である。

第2表 繰越明許費

(説明)

建設 課長 それでは、繰越明許費についてのご説明をさせていただく。5 Pになる。表の8行目になるが、8款2項の道路橋りょう費、日本海沿岸東北自動車道整備推進事業経費で843万5,000円だ。これは、道の駅朝日の基本設計の一部に係る経費だが、昨年度基本計画を策定し、建屋等について国の便益施設と一体型として整備することとしていることから、基本設計に当たって国土交通省と施工の範囲や区分等について協議を進めてまいったが、最終的に詳細な協議が調わなかったため、繰り越しをお願いするものである。次に、9行目、同じく8款2項道路橋りょう費の除雪対策経費で4,750万円だ。これは、市道小岩内18号線ほか消雪施設の改修事業に係る経費であるが、国の社会資本交付金の2次補正によるもので、年度内での執行ができないため繰り越しをお願いするものである。次に、10行目、同じく8款2項道路橋りょう費の市道整備事業経費で1,450万6,000円である。これは、市道今宿7号線踏切改良事業の詳細設計業務と用地測量業務であって、国の交付金事業によるものだが、詳細設計に当たり東日本旅客鉄道株式会社、いわゆるJRとの協議を進めてきたが、先方からの詳細協議の回答が出てこなかったために繰り越しをお願いするものである。以上である。

都市計画課長 同じく5 P、8款2項の道路橋りょう費の都市計画課の担当分である村上総合病院移転新築周辺道路整備事業経費357万8,000円については、用地交渉において個々のさまざまな事情により売買契約まで時間を要したので、繰り越しをお願いするものである。以上である。

歳出

第4款 衛生費

(質疑)

なし

第6款 農林水産業費

(質疑)

なし

第8款 土木費

(質疑)

なし

第2表 繰越明許費

(質疑)

なし

以上で質疑を終結し、賛否態度の発言なく、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第39号のうち経済建設分科会所管分については、起立全員にて原案のとおり可決すべきものと態度

を決定した。

日程第12 議第4号 平成31年度村上市一般会計予算のうち建設課、都市計画課、下水道課及び水道局所管分について、担当課長（建設課長 伊与部善久君、都市計画課長 山田知行君、下水道課長 早川明男君、水道局長 川村甚一君）から歳入についての説明を受けた後、歳入についての質疑に入り、歳入についての質疑終了後、歳出についての説明を受けた後、歳出についての質疑に入る。

歳入

第13款 使用料及び手数料

（説明）

建設 課長 それでは、建設課所管分についての歳入のご説明をさせていただく。特に予算額の大きいものについて主に説明をさせていただくので、よろしく願いいたす。それでは、24P、25Pをお開きください。第13款使用料及び手数料、1項7目第1節の道路使用料だが、説明欄をごらんください。2、道路占用料で1,758万1,000円のほか、里道等占用料また道路占用料等の滞納繰越分や生産物採取料、行政財産使用料などを計上させていただいた。

都市計画課長 都市計画所管分についても、主なものについて説明をさせていただく。同じ24P、25Pの13款1項7目土木使用料、第4節住宅使用料2,703万円については、市営住宅管理戸数240戸、駐車場66区画の現年度及び滞納繰越分の使用料である。

第14款 国庫支出金

（説明）

建設 課長 28P、29Pをごらんください。14款国庫支出金、2項4目第1節の道路橋りょう費補助金だ。説明欄をごらんください。1、社会資本整備総合交付金で2億3,378万6,000円を計上させていただいた。これは、平成31年度の社会資本整備総合交付金の要望額4億75万円に対する国費相当額2億3,378万6,000円を歳入として計上させていただいたものである。補助率については、事業によって異なるが、0.53から3分の2となっている。

都市計画課長 同じく29Pの14款2項4目第1節道路橋りょう費補助金のうち、説明欄2の都市計画課分227万9,000円については、坂町地内の都市計画道路南中央線道路整備の交付金である。次に、14款2項4目第2節住宅費補助金3,144万2,000円については、堤下住宅2、4号棟配水管改修工事で1,007万円、そのほか木造住宅耐震診断、耐震改修、瀬波病院の耐震改修の交付金である。次に、14款2項4目第3節都市計画費補助金3,232万1,000円については、歴史的風致形成建造物保存事業で1,843万8,000円、そのほか無電柱化事業、道路美装化事業、建造物外観修景事業の交付金である。以上だ。

第15款 県支出金

（説明）

建設 課長 30P、31Pをごらんください。15款県支出金、1項3目第1節の農業費県負担金だが、説明欄をごらんいただきたいと思う。1、地籍調査事業費負担金で1,870万5,000円を計上させていただいた。これは、平成31年度の地籍調査事業の要望額2,494万円に対する県負担金相当額1,870万5,000円を歳入として計上させていただ

いたものである。なお、国負担分も合わせて県負担金となっており、内訳は国が50%、県が25%であり、合わせて75%の負担金となっている。

都市計画課長 次に、34P、35Pをごらんください。15款2項5目土木費県補助金、第1節住宅費県補助金1,074万4,000円については、説明欄1の木造住宅耐震診断事業費補助金として6万9,000円、説明欄2の木造住宅耐震改修事業費補助金として18万3,000円、説明欄3の要緊急安全確認大規模建築物耐震改修等事業費補助金1,049万2,000円は、瀬波病院耐震改修への県補助金である。

建設 課長 15款県支出金、3項3目第1節の河川費委託金だ。説明欄ごらんください。1、河川維持管理委託金で1,495万5,000円を計上させていただいた。これは、2級河川など県管理河川の堤防等の草刈りにおける県からの委託金となっている。以上である。

都市計画課長 15款3項3目第3節の住宅費委託金1,202万7,000円のうち、説明欄1の県営住宅管理委任交付金982万1,000円については、県営住宅の家賃収入の約23%が市に交付されるものである。説明欄2の県営住宅特別維持管理交付金は、県営住宅の維持管理の交付金として37万1,000円、説明欄3の県営住宅特別修繕交付金は、県営住宅の修繕費の交付金として183万5,000円である。以上、都市計画所管分の歳入の説明を終わる。

第16款 財産収入

(説明)

なし

第20款 諸収入

(説明)

なし

歳入

第13款 使用料及び手数料

(質疑)

なし

第14款 国庫支出金

(質疑)

なし

第15款 県支出金

(質疑)

なし

第16款 財産収入

(質疑)

なし

第20款 諸収入

(質 疑)
なし

歳出

第4款 衛生費

(説 明)

水道 局長 それでは、水道局所管部分について説明申し上げます。予算書の104、105Pである。第4款衛生費、1項1目保健衛生総務費、28節繰出金、これは水道2事業への繰出金であって、説明欄6の簡易水道事業特別会計繰出金が2億2,565万1,000円、説明欄7の上水道事業会計繰出金が1,329万9,000円で、合わせて2億3,895万円である。内容等については、各会計予算で説明申し上げたとおりである。以上である。

第6款 農林水産業費

(説 明)

建設 課長 それでは、建設課所管分の歳出のご説明をさせていただく。歳入と同様に歳出についても特に予算の大きいもののみを説明させていただくので、よろしく願いいたします。それでは、124P、125P、第6款農林水産業費、1項5目の農地費で説明欄をごらんください。一番下になる。3、地籍調査経費で2,661万8,000円を計上させていただいた。内訳については、ページをめくっていただいて、127P、説明欄の上段の記載のとおりになっているので、ごらんをいただきたいと思うが、調査の対象地区については、地籍調査事業負担金で神林塩谷地区並びに朝日川端地区、また社会資本整備円滑化地籍整備事業で朝日猿沢地区を実施することといたしている。次に、1つ飛ばして、5、地籍調査事業職員人件費で1,459万8,000円を計上させていただいた。これは、国土調査事業に係る職員の人件費であって、内訳については説明欄に記載のとおりとなっているが、2名分を計上させていただいている。

下水道課長 次に、第6款4項1目農業集落排水処理施設費繰出金についてご説明申し上げます。136、137Pをお開き願う。137Pの説明欄で1、集落排水事業特別会計繰出金については、集落排水事業特別会計への繰出金といたして7億2,315万7,000円を計上させていただいた。繰出金の主な使途内容といたしては、集落排水事業の集落排水費で、集落排水施設の施設管理費のほか公債費で事業債の残金や利子の償還金などに充てさせていただいている。以上だ。

第8款 土木費

(説 明)

建設 課長 それでは、144P、145Pをお開きください。第8款土木費、1項1目の土木総務費だ。説明欄をごらんください。1、土木総務管理経費で207万2,000円を計上させていただいた。内訳についてはごらんのとおりだが、主なものとして臨時職員1名分の賃金のほか、郡市土木振興会等の負担金などを計上させていただいている。次に、146P、147Pをお開きください。同じく8款1項1目の土木総務費で、5、広域道路整備一般経費で162万円を計上させていただいた。これは、日本海沿岸東北自動車道建設促進新潟地区期成同盟会の負担金のほか、ごらんのとおりの各種同盟会、協議会等の負担金や会費を計上させていただいたものである。次に、6、土木総務費職員人件費で1億8,344万5,000円を計上させていただいた。これは、土木総務に係

る本庁12名、支所12名、計24名分の職員人件費を計上させていただいたものである。次に、148P、149Pをお開きください。8款土木費、2項1目道路橋りょう総務費だが、同じく説明欄をごらんください。1、道路橋りょう一般管理経費で3,290万2,000円を計上させていただいた。主なものとして、光熱水費で道路照明等の電気料761万2,000円、施設維持保全業務委託料として高速道路の地域活性化インターである神林岩船港インター、村上山辺里インター、それから朝日三面インターの除雪等の国土交通省への管理委託料740万7,000円ほか、道路台帳の補正業務等、測量設計等委託料として782万2,000円を計上させていただいたものだ。次に、2、日本海沿岸東北自動車道整備推進事業経費として619万6,000円を計上させていただいた。主なものとしたしては、朝日温海道路事業推進協議会の委員報酬32万3,000円のほか、朝日まほろばインターチェンジと道の駅朝日を結ぶアクセス道の事業用地取得のための測量設計等委託料として490万円などを計上させていただいたものである。次に、8款2項2目の道路維持費だが、説明欄をごらんください。1、道路維持管理経費で7,946万円を計上させていただいた。主なものとしたしては、道路の舗装や側溝などの補修に係る修繕料2,940万円のほか、道路の除草や側溝清掃などの維持保全に係る業務委託料3,993万4,000円などを計上させていただいている。次に、2、道路対策事業経費として3億504万8,000円を計上させていただいた。測量設計等委託料として市道藤沢停車場線、桃崎人道橋補修設計業務委託ほか4件の業務委託料で3,770万円を、橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託では137橋の橋梁点検業務と橋りょう長寿命化修繕計画策定業務委託料として4,310万円を計上させていただいた。また、工事請負費として、市道府屋温井出線のり面対策工事ほか8件分の工事として2億2,424万8,000円を計上させていただいている。次に、3、除雪対策経費として5億4,305万3,000円を計上させていただいた。150P、151Pをごらんください。主な内訳としたしては、消雪パイプ点検調整業務など設備保守点検業務委託料で4,592万7,000円を、除排雪委託料で2億4,228万1,000円を計上し、また工事請負費で市道藤沢停車場線消雪パイプ削井工事ほか2件の工事費で6,470万円などを計上させていただいている。次に、8款2項3目の道路新設改良費だが、同じく説明欄をごらんいただきたいと思う。1、市道整備事業経費で3,970万4,000円を計上させていただいた。内訳としたしては、測量設計等委託料で市道今宿7号線、第2村上街道踏切支障移転測量設計業務委託ほか3件の委託料1,144万円を、工事請負費で市道殿岡南大平線道路改良工事ほか4件の工事費で2,826万4,000円を計上させていただいている。

都市計画課長 歳出の都市計画所管分も、主なものについて説明をさせていただく。同じく151P、8款2項3目道路新設改良費、説明欄2の村上総合病院移転新築周辺道路整備事業経費2億6,279万7,000円については、3行目の工事請負費2億4,750万9,000円は、周辺道路260メートル、幹線道路685メートル、都市下水路補強工事等を予定している。その下、土地購入費1,150万6,000円は、地区幹線道路の土地購入代である。3件分を予定している。

建設 課長 次に、3、道路改良事業費職員人件費で5,180万3,000円を計上させていただいた。これは、道路改良事業に係る職員6名分の人件費を計上させていただいている。次に、8款3項1目の排水路維持費だが、同じく説明欄をごらんください。1、排水路維持管理経費で1,867万1,000円を計上させていただいた。主なものとしたして排水路の修繕料238万円を、施設維持保全業務委託料として草刈りや江ざらいの委託料

として747万6,000円を、また工事請負費として山居排水路防草コンクリート舗装工事ほか2件の工事費で880万2,000円を計上させていただいている。次に、152P、153Pをお開きください。1つ飛んで、8款第4項1目の河川総務費だが、説明欄の1、河川総務一般経費並びに2、水辺の楽校経費については金額が少額なので、省略させていただく。内訳については、説明欄をごらんください。次に、8款4項2目の河川改良費だ。同じく説明欄をごらんください。1、急傾斜地崩壊対策経費で960万円を計上させていただいた。測量設計等委託料では、花立地区のブロック積み箇所ので地盤ひずみ観測業務並びに解析業務で610万円を、また山北芦谷地区において県で実施をいただいている急傾斜地崩壊防止工事の市負担金として350万円、これは7,000万円に対する5%の負担金である。それらを計上させていただいている。次に、2、河川整備促進経費で3,960万円を計上させていただいた。工事費として、滝矢川改修工事ほか1件の工事費2,100万円を、また同工事における水道移設並びに電柱移転の補償費として1,860万円を計上させていただいている。

都市計画課長 続いて、154P、155Pをごらんください。8款6項1目都市計画総務費の説明欄1、都市計画総務一般経費のうち、中ほどの都市計画関係業務委託料250万円については、都市計画道路の変更等の委託料である。変更内容といたしては、環状3号線の変更やJR、県、国との打ち合わせの資料を作成する予定としている。次に、説明欄2の歴史的風致維持向上計画推進経費のうち、中ほど測量設計等委託料1,052万円は、無電柱化関係の委託料である。その下、工事請負費582万円は、道路美装化工事、その下、歴史的風致形成建造物保存事業補助金3,879万9,000円は、建物8棟分を予定している。次に、説明欄3、都市計画総務費職員人件費は、都市計画課7人分の職員人件費である。同じページ、8款6項2目街路事業520万円は、都市計画道路南中央線道路改良工事延長20メートル分の工事費である。続いて、156P、157Pをごらんください。8款6項3目公園費、説明欄2の都市公園整備経費97万円は、都市公園の遊具などの修繕、樹木の伐採や剪定などの修繕工事の費用である。

下水道課長 次に、第8款7項1目下水道整備費（繰出金）についてご説明申し上げる。同じく157Pの説明の一番下になるが、1、下水道事業特別会計繰出金については、下水道事業特別会計の繰出金といたして23億9,998万8,000円を計上させていただいた。繰出金の主な使途内容といたしては、下水道事業の下水道費で、下水道施設の施設管理のほか公債費で事業債の元金や利子の償還金などに充てさせていただいている。以上である。

都市計画課長 続いて、158P、159Pをごらんください。8款8項1目住宅管理費の説明欄1、住宅対策経費5,200万9,000円のうち、中ほどにある測量設計等委託料320万1,000円は、堤下住宅2、4号棟の配水管改修工事の施工管理等の委託料である。その下、工事請負費3,290万円の主なものは、堤下住宅2、4号棟配水管改修工事、そのほか入居時の空き家等の修繕工事費である。説明欄2の耐震改修促進事業経費4,310万4,000円については、木造住宅耐震診断及び耐震改修と瀬波病院の耐震改修工事に対する補助金である。これらは国、県からの補助金もある。説明欄3の住宅管理費職員人件費は、都市計画5人分の職員人件費である。以上で都市計画所管分の歳出の説明は終わる。

第11款 災害復旧費 (説明)

建設 課長 200 P、201 Pの11款災害復旧費、2項1目の公共土木施設災害復旧費については、費目計上とさせていただいている。以上である。

第2表 債務負担行為

(説明)

建設 課長 7 P、第2表、債務負担行為になるが、表の上から7行目で日東道地域活性化ICランプ部維持管理業務委託料だ。これは、地域活性化インターチェンジである神林岩船港インターチェンジ、村上山辺里インターチェンジ、朝日三面インターチェンジの3カ所について国土交通省に管理をお願いするための委託料だ。国土交通省における精算の関係上、契約期間が当該年度の5月1日から翌年度の4月30日となり、年度のまたがった契約となるため、債務負担行為をお願いするものである。以上である。

都市計画課長 同じく7 P、その下をごらんください。都市計画所管分の債務負担行為については、中ほどの要緊急安全確認大規模建築物耐震改修等事業費補助金であるが、瀬波病院の耐震改修工事が2カ年になるため、債務負担をお願いするものである。以上である。

歳出

第4款 衛生費

(質疑)

なし

第6款 農林水産業費

(質疑)

なし

第8款 土木費

(質疑)

竹内喜代嗣 145 Pに郡市の土木振興会負担金とあるけれども、土木振興会を通じて国に予算を要望したり、行っているということだったのだが、それで間違いないか。

建設 課長 毎年羽越河川国道工事事務所、それから北陸地方整備局と、要望活動は行っている。
竹内喜代嗣 土木の中に出てくるわけで、どこがいいのか踏まえて今のところで聞こうかなと思ったのだ。海岸浸食、これで神林のお幕場公園の浸食についての改良工事というのが2017年に建設課長からお伺いして、土木振興会の要望でもあったということで、私どもで予算要望を担当者にやったのだ。そうしたら、要するに国土交通省所管ではなくて農林水産省の所管で、森林公園だからその森林関係の予算でやるというふうに回答されたのだが、一向にやられていないようなのだけれども、これはわからないよね。

建設 課長 森林管理署というか林業、林政のほうでやられている事業として海岸部の護岸工事等はやっている。

竹内喜代嗣 後ででは詳しく。あれ、県が直接やっている工事だと思うのだが、いかがだろうか。
建設 課長 森林管理署でやっている部分については国の事業である。

竹内喜代嗣 151 Pに村上総合病院の移転新築周辺道路整備事業経費となっていて、土地購入費が

出てまいる。1,150万6,000円か。これというのは、坪幾らぐらいになるのだろうか。

都市計画課長 田んぼ等とか、あと道路に近いところで単価がそれぞれ違うのだけれども、高いところで平方メートル8,000円ぐらいのところである。

竹内喜代嗣 そうすると、病院用地になったようなところは、坪8,000円だから2万5,000円、24でよろしいのだろうか。

都市計画課長 今言っているのは田んぼ等なので、宅地とはまた違うのだけれども、それぞれ宅地とか田んぼとかあと雑種地とかで違うけれども、それを全て・・・

(何事か呼ぶ者あり)

都市計画課長 駅西さんの一番中心的なところの単価でよろしかっただろうか。

竹内喜代嗣 はい。

都市計画課長 平方メートル1万2,000円だそうだ。

(何事か呼ぶ者あり)

竹内喜代嗣 すぐ終わる、何せ土木はずっと広いので。153Pの河川整備促進ということだろうか、滝矢川の改修というのが地元の人から大変いつまでたってもどうなっているのだということである。この予算だと、やっぱり50メートルとか100メートルとか、これは何メートルぐらいになる。

建設 課長 おっしゃるとおり、ちょっと工事費が意外とかかる工事であって、本年度の予算、平成31年度の予算でいくと、18メートルから20メートルくらいかなというふうに考えている。

竹内喜代嗣 何という名前だかちょっと度忘れしたけれども、災害対策だったか、国の交付金制度があるかと思うのだが、それに乗らない工事なのだろうか。補助がつかないからこうなっているのではないかなと思うのだが、いかがだろうか。

建設 課長 基本的な補助金、交付金の対象にはちょっとなくなって、今のところ単独事業でやらせていただいているけれども、全体計画立てた中で一旦下流側から進めてきて、議員もご存じかと思うのだけれども、電気の会社あって、そこにちょっと橋かかっているところあるのだけれども、その下流側はもう全部既に終わっていて、昨年から今度上流部の支障部になっているところ、一番支障となる部分をやらないといけないということでそっち進めているけれども、上流の部分で用地の問題があって、そこから先下流の部分で用地の問題があってちょっと進まないところがあって、そこの対応を見ながら上流部で一番支障になっているところから工事を進めているという状況である。

竹内喜代嗣 滝矢川改修の問題は専門家、担当課だからよくわかりだと思うのだが、要するに大雨が降ったときに荒川本線が増水していくと、平林の上流部にある山水が全部あそこにほとんど集まってくるような形になるよね。そうすると、国道の高さまで水がたまるのが必ずというような、簡単に言えばそういう状況だと思うのだけれども、だからぜひ私も一生懸命勉強してみるので、今後とも努力をお願いする。回答はい。

本間 善和 155Pの都市計画課長、先ほどちょっと聞き落とししたみたいなのだ。測量設計委託1,052万円というのがあると思うのだけれども、2番の歴史的風致維持向上計画推進経費のところである。そのところのところに、測量設計等委託料という格好で1,052万円計上されている。先ほど無電化についての云々と言っただけだけれども、ちょっともう少し詳細に教えていただきたいと思う。

都市計画課長 私の発音が悪くて大変申しわけなかった。無電柱化関連業務委託ということで、今

電柱が立っているところを地下埋とかにして、無電柱化するためのその委託料という形でなっている。

本間 善和 そうすると、もう実施設計委託という格好で、箇所を決めてどこからどこまでという格好での委託発注するという格好なのか。

都市計画課長 電線管理者等と昨年からみんな詰めてきていて、路線については今の新多久さんのところに通っている通りがあるけれども、そちらのほうを無電柱化する予定で委託をしている。

本間 善和 そうすると、その下のところにある工事費ということで582万円計上されているけれども、このお金というのは何なのか。

都市計画課長 そちらについては、地道風舗装として道路の美装化、第四銀行の横の路線を予定していて、無電柱化とは違う工事になる。

本間 善和 わかった。

(何事か呼ぶ者あり)

竹内喜代嗣 済みません、さっきも最後と、ごめんなさい。空き家対策で、よその自治体でやっているその空き家、リフォームした家を購入する。そのときに、今住宅金融公庫ではなくなったような気もするのだが、公庫と市が契約をすれば、貸付利息の補填があるような制度があつて、何のときだったか忘れてしまったけれども、市長とやりとりして研究してみるというふうに回答いただいたのだが、別にその公庫と契約すればということなのだが、どんな困難があつてできていないのだろうか。

副 市 長 今のご質問あるけれども、空き家対策については市民課が所管になっていろいろ検討しているかと思うので、後日調べた上でご回答申し上げたいと思う。

(何事か呼ぶ者あり)

川村分科会長 よろしいね、では竹内委員。

(何事か呼ぶ者あり)

第11款 災害復旧費

(質 疑)

なし

第2表 債務負担行為

(質 疑)

なし

川村分科会長 ただいまご審査いただいた事件についての討論は特別委員会の最終日で行うこととなるので、これから本分科会の賛否態度の取りまとめを行う前に、賛否についての発言があつたら願います。発言はないか。座ったままで。

竹内喜代嗣 大変失礼した。簡潔に述べる。当委員会所管の部分で、農林水産業費の部分で、ことしはまず漁業法の改定が、大改悪が行われたというふうに私は認識している。アベノミクスが大企業が世界一もうけやすい体制・・・短くない。

(何事か呼ぶ者あり)

竹内喜代嗣 要するに大企業優先の漁業政策が行われて、さらに農業においても外国からの農産物が自由化されるような事態が生じているわけだ。だから、これで村上地域の農業を守っていくという点では、残念ながら国際家族年という、家族農業を大事にしよ

うということしは、平成31年度は初年度ということであったが、その施策について注目していたが、なかった。残念なことだった。したがって、農業予算の面で不十分なところがあったというようなことを主な内容にいたして反対をしたいと思う。以上だ。

川村分科会長 ほかにないか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

川村分科会長 ないね。これで賛否態度についての発言を終わる。

以上で質疑を終結し、起立による賛否態度の取りまとめを行った結果、議第4号のうち経済建設分科会所管分については、起立多数にて原案のとおり可決すべきものと態度を決定した。

分科会長（川村敏晴君）閉会を宣する。

(午後2時04分)